

友だちとの関わりの中で、少しずつ相手の気持ちに
目を向けて、やりとりしてみようとする。
友だち同士で気持ちが通い合う喜びを感じていく。



「バスに乗って♪」のお歌を歌って大人の足に乗って遊んでいると、りなちゃんが思い立ったようにお人形を持ってきて足に乗せてバスごっこ。そんな姿を見てなぎさちゃんもお人形を持ってきてバス遊び…かなでくんも一緒におととつと～！と身体を揺らして「きゃ～！」と言ってはお顔を見合わせて、ケタケタと笑い合う姿がありました。みんなで笑い合うともっと楽しいですよ。大人との遊びから子ども同士での遊びへと変化してきています。

お人形というアイテムと好きな歌もあって
一緒にの楽しさは何倍にもなりますね



にこにこさんと屋上で遊んだ日のこと。みんなコンビカーに乗りた
いけれど、2台しかありません。さてどうしようか…と話し合い、にこ
組のしおんくんと「駅」を作ることに。しおんくんとゆたかくん2人
のにこにこさんを中心に、駅に停まって、交代で乗る、というルール
がちょっとずつ浸透してきました。



そのうち、ぐんぐんの子たちも、一緒に座って駅で順番を待つ姿が。大人の
フォローも受けつつですが、こうして、待ったり、譲ったり、でも、無理や
り交代するのではなく…相手がいるからちょこっと自分の気持ちをコントロ
ールして融通をつけていくという過程も大切にしたいなあと思った場面
です。そして、こんなにそれができるようになっていた姿にびっくりしまし
た。



順番というルールが大人から与えられるのではなく…遊びの中で
生まれた駅あそびの中でそれぞれが楽しいと思えたから、一緒に守
るといいことがあるというルールによさに納得して受け入れること
ができるのでしょうか。



公園では、こんな風に、滑り台をすべってくるお友だ
ちに「かんかんかん、どうぞー」と踏切をやってけれ
る姿も。自分ですべるのはまだこわい…けれど、お友
だちと一緒にだとこんな楽しみ方もできますね♪



ちがう役割で同じ遊びの中に参加できるとい
うのが形にはまっていない、この頃のごっこあそ
びなんです。



「おじいさんとハサミがやってきました。」「おじいさんがねてたっ
て言ってきました。」などどわかちゃんが自分で絵本を読んでいる
と、しょうたくんがやってきてそのまま読み聞かせに。「おもしろい
ね～」とわかちゃんもしょうたくんの笑い声に共感してくれながら2
人で同じ絵本の世界のイメージを楽しんでいました。



こんなステキな絵本の楽しみあい方、たぶん
世の中の大人は誰も知らないだろうなあ。



以前までの姿だと絵本の取り合いになりそうな場面でしたが、お友達
の読み聞かせを聞いたり、自分の読み聞かせを聞いてもらったり…お
友達と一緒にだからその心地よさを感じたり、一緒にイメージを共有
して笑い合う楽しさを味わったり。そんな経験の積み重ねが2人の信頼
関係にも繋がっていきますね。

